

乳・子宮頸がん検診を受ける方へ

乳がん・子宮頸がんは若い年代から発症する“がん”です

女性のがんで一番多い乳がんは、40歳代に発症の1つ目のピークがあり、若い年代にも多いがんです。

子宮頸がんは、発症にHPVウイルス感染が関与しています。近年39歳以下の発症が増えていますが、子宮頸がん検診では、がんになる前の“前がん病変”や“ごく初期”で発見することができます。この段階であれば「円錐切除」という狭い範囲の手術で済むため、妊娠や出産も可能です。

精密検査は必ず受診しましょう

大切な命を守るために、2年に1度定期的に検診を受診し、【要精検】と判定された場合は必ず精密検査を受けてください。また、【要精検】とならなくても気になる症状がある場合は医療機関で相談してください。

※精密検査の結果は、福島市と検診医療機関に報告されるとともに、検診精度向上及びがん研究等の目的に限り利用されます。

継続して検診を受けましょう

検診ですべてのがんが発見できるわけではありません。がんは、発生してから一定の大きさになるまでは発見が難しく、初期段階ではほとんどが無症状です。そのため、できるだけ早期にがんを見つけ治療に繋げるには、検診を継続して受けることが大切です。

また、がんの中には急速に進行するがんもあります。気になる症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

問合せ先 福島市保健所健康づくり推進課 024-525-7680

乳がんを早期発見するために！ ブレスト・アウェアネス 4つのポイント

乳がんは自分でも見つけることができ、早期に治療すれば、ほぼ100%治すことができます。早期発見のために、日頃から乳房を意識する生活習慣「ブレスト・アウェアネス」を心がけましょう。

1 自分の乳房の状態を知る

「自分の乳房の状態を知る」ことがブレスト・アウェアネスの第一歩。入浴やシャワーの時、着替えの時、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触ってみましょう。

3 変化に気づいたらすぐ相談

しこりや引きつれなどの変化に気づいたら次の検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。大丈夫だろうと自己判断せず専門医の診察を受けることが大切です。

2 乳房の変化に気をつける

普段の自分の乳房の状態を知ることで変化に気づくことができます。しこりを探すという行為や意識は必要ありません。いつもと変わらないかなという気持ちで取り組みましょう。

4 40歳から2年に1回検診を

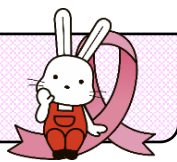
症状のない初期の乳がんでもマンモグラフィ検査で発見することができます。乳がんが増え始める40歳以降は、2年に1回、定期的に乳がん検診を受けましょう。

変化に注意するポイント

- 乳房のしこり、赤み
- 乳房の皮膚のくぼみや引きつれ
- 乳頭からの分泌物
- 乳頭や乳輪のただれ



乳がん検診



気になる症状がある場合

乳房にしこりがある、皮膚がひきつれる、乳頭から血が混じった液が出る、乳頭に湿疹やただれがあるなど気になる症状があれば、次の検診を待たずに外科や乳腺外科を受診してください。また、経過観察中の方、乳がん既往のある方は主治医の指示を受けてください。

マンモグラフィ

小さいしこりや石灰化(炎症の痕)を見つけることができます。乳房を片方ずつプラスチックの板ではさみX線で撮影します。乳房が圧迫されるため痛みを感じますが、撮影時間は数十秒ほどです。
*放射線による健康被害はほとんどありません。

精密検査

(保険診療となります)

複数実施し判定します。

マンモグラフィ追加撮影 小さなしこりを確認します。

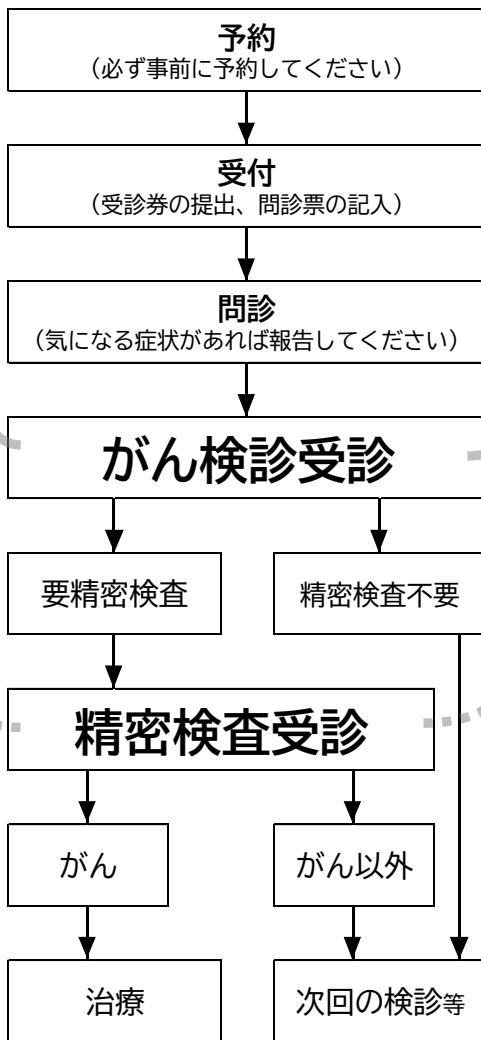
超音波検査 しこりの中の構造が分かります。

細胞診、組織診 組織を採取し悪性かどうか診断します。

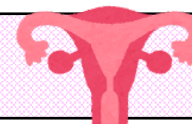
視触診 しこりを確認します。

乳管造影・乳管内視鏡検査 乳管内の様子を調べます。

検診の流れ



子宮頸がん検診



気になる症状がある場合

月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など、気になる症状がある場合は、次の検診を待たずに婦人科を受診してください。また、経過観察中の方は、主治医の指示を受けてください。

内診

子宮の形、大きさ、位置、動き、圧痛の有無等を確認します。

子宮頸部の細胞診

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシのついた専用の器具で擦って細胞を取り、がん細胞など異常な細胞がないかを調べます。
*月経(生理)中は避けて検査を受けてください。

精密検査

(保険診療となります)

コルポスコープ検査

細胞診で異常が発見されたら、コルポスコープ(腔拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく見ます。異常な部位が見つければ、組織を一部採取して悪性かどうかを診断します。

HPV検査

子宮頸がんを引き起こすHPVウイルスの有無を調べる検査です。

精密検査のできる 医療機関



医療機関名	電話番号	乳	子宮頸
アートクリニック産婦人科	523-1132		○
いちかわクリニック	554-0303		○
大川レディースクリニック	545-8883		○
大原総合病院	526-0300	○	○
君島乳腺クリニック	528-8511	○	
済生会福島総合病院	544-5171	○	○
てらだクリニック	559-3101		○
新妻産婦人科	533-1103		○
西口クリニック婦人科	525-6388		○

医療機関名	電話番号	乳	子宮頸
福島県保健衛生協会 総合健診センター	546-3533	○	○
福島西部病院	533-2121	○	○
福島赤十字病院	534-6101	○	
本田クリニック産科婦人科	545-3500		○
明治病院	521-0805		○
やざわみほレディースクリニック	573-5881		○
わたり病院健診センター	522-3446		○
福島県立医科大学附属病院	※検診医療機関からの予約が必要		